

広島県の新型コロナウイルス感染症の状況にかかる評価と提言**【感染状況】**

- 県全体の新規報告数（直近 1 週間の人口 10 万対）は、4 月中旬に警戒基準値（4 人）を越えて以降徐々に上昇傾向を示し、4 月 27 日には 10 人を超え、5 月 5 日時点で 18.8 人と急増し、ステージⅢの水準を上回っている。
- 特に、広島市は 27.9 人とステージⅣ相当となっており、福山市においても 14.3 人と厳しい状況が続いている（参考：広島市及び福山市を除く地域は 11.8 人）。
- 年代別では、感染を広げやすい 20 代～50 代の割合が高く、また、感染力の強い変異株の割合は 5 割を超え、従来株から変異株への置き換わりも進んでいる。
- ゴールデンウィークの人流は増加しており、特に感染拡大地域からの流入が多いことから、更なる感染拡大の可能性は非常に高い。

【医療提供体制】

- 感染者数の増加に伴い、療養者数も増加し、県内の人口 10 万対療養者数は、5 月 5 日時点で 21.5 人と、ステージⅢ相当である。
- 病床使用率は 52.3%、宿泊療養施設についても 54.6%と、5 割を超えており、患者の増加に伴い上昇し、ひっ迫してきていることから、医療提供体制のフェーズを上げ、病床及び宿泊療養施設の確保を早急に行う必要がある。
- 今後、高齢者層への波及や施設等におけるクラスターが発生すると、療養者数、重症者数の増加も見込まれる。昨年、12 月に発生した感染拡大時の対応を教訓に、医療機関への要請、後方支援病院の確保を県全体で速やかに行い、確保された病床が有効に活用できる体制を整える必要がある。

【クラスター対策】

- クラスターは、飲食店に限らず、職場、部活、会合など様々な場面での発生が報告されており、全国的な傾向と類似している。
- クラスターの発生しやすい場での対策を徹底するとともに、着実に人流を抑える対策や幅広く接触を削減する対策、早めに感染者を探知・隔離する対策が求められる。
- 医療施設・介護施設等におけるクラスターは、今後、高齢者層への感染拡大により頻発する恐れがある。引き続き、施設内の感染防止対策と早めに探知し抑え込む対策の徹底、「医療・福祉クラスター対応班」による施設支援を継続することが必要である。

【ステージ判断について】

- 全県における各種指標は、感染状況、医療提供体制ともにステージⅢの水準を上回っており、感染の拡大が県内全域で広く認められていることから、県全体としてはステージⅢの状態にあると認識し、警戒を強める必要がある。
- 特に、広島市は感染状況、医療提供体制からも、ステージⅣ相当の状態にある。
- 福山市についても、感染状況が悪化していることから、十分な警戒が必要である。

【広島県の集中対策について】

- 現在の感染の発生動向からは、今後も更に拡大することが強く懸念される。特に、変異株の感染力が高いことを考慮すると、今の段階で、人流をしっかりと広く抑え、人と人との接触による感染の連鎖を遮断する強い措置を講じていくことが求められる。
- 感染経路として飲食店を介しての発生は、昨年12月と比較した場合、その割合は高くないものの、広島市の中心部の繁華街においては、4月以降継続して陽性者の発生が認められている。特に、飲食店が集中しているエリアであり、県内・県外からの人の流入も多い。実際に、昨年12月の対策では効果が得られたことも踏まえ、このタイミングにおいて、人流を抑制する観点からも、営業時間の短縮等の対策を求めることは必要である。
- 県民に対しては、感染力の強い変異株の影響も踏まえ、今一度次の事項を強く呼びかけ、県民一人ひとりが基本的な対策を徹底することが重要である。
 - ・ 飲食、会食、職場、学校のマスクを外す場面での感染防止対策の徹底
 - ・ 有症状者への受診勧奨と、医療機関での検査の徹底
 - ・ 症状を有する場合、仕事等を休み、受診と自宅での療養実施
 - ・ 流行地との移動自粛
 - ・ 保健所の積極的疫学調査への協力の呼びかけ
- 事業所を対象としたPCR検査については、感染者が急増し、検査もひっ迫している状況が見受けられることから、事前確率の高い有症状者や接触者等の検査が滞ることのないよう確実に速やかに行われる体制を整えるとともに、保健所の調査体制、医療提供体制の更なる強化を図ったうえで実施することが必要である。